

このアプリケーションは、伊勢神宮のバリアフリー観光をサポートするもので、開発協議会の企画が国土交通省「ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」に採択され、OCSが国土交通省の委託を受けて開発したものです。OCSは、観光情報提供システム「TweetLine@観光」をベースに、伊勢神宮周辺を訪れる高齢者や障がい者などさまざまなタイプの観光客に対して、その人に合った施設・店舗や安全な経路、あるいはバリア情報を伴った各種観光コンテンツなどを提供するアプリケーションを完成させました。



メニュー画面

CSR調達の取り組みを強化

お客様をはじめとするステークホルダーの声にお応えし、社会的責任を果たしていくためには、サプライチェーンに関わるお取引先の協力が不可欠です。OKIはこの認識に基づき、パートナーとしての信頼関係構築に努めるとともに、「OKIグループ資材調達方針」に基づき、CSR調達の取り組みを推進しています。

2013年度は、国内の主要なお取引先を対象に、社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に基づき、CSR推進体制、および人権・労働、品質・安全性など7つの分野における取り組み状況の調査を実施するとともに、紛争鉱物の使用状況についても調査を行いました。

2013年度の状況

株主・投資家への情報発信

OKIグループは、株主・投資家の皆様に、経営戦略、経営成績などの有用な情報を適時・適切に開示するよう努めています。専任部署であるIR室を中心に情報開示やIR活動を積極的に推進するとともに、インサイダー取引の防止を徹底しています。

中期経営計画に関する経営説明会を実施

OKIは、市場の声を適切に経営や事業活動に活かすことが経営の効率化と企業価値の向上につながるという認識のもと、社長をはじめ経営陣自らが、投資家説明会やIRミーティングなど各種のコミュニケーション活動を実施しています。2013年11月には、中期経営計画に関する経営説明会を実施し、社長の川崎が、中期経営計画2013（2011年度～2013年度）の総括とともに、中期経営計画2016（2014年度～2016年度）においてめざす姿と経営方針、目標、戦略などについて説明を行いました。



経営説明会（2013年11月）の様子

IRサイトやニュースメールで情報を発信

OKIは、決算情報や証券取引所へのファイリング情報、新商品・サービスなどのプレスリリース情報、IRサイト更新情報などを電子メールで配信する「OKIニュースメール」（日本語・英語）を、機関投資家など約1,500名の方々に随時配信しています。

また、情報開示の公平性を保つため、決算情報をはじめとするさまざまなIR情報を自社のウェブサイト（IRサイト）に日本語・英語で同時掲載し、投資家の皆様にとってより使いやすいサイトをめざして継続的な改善に努めています。OKIのIRサイトは、

モーニングスター株式会社ゴメス・コンサルティング事業部（Gomez）が2013年4月に発表した「Gomez IRサイト総合ランキング 2013」で銅賞を受賞しました。

インサイダー取引防止を徹底

OKIグループは、株主・投資家保護や証券市場の信頼性確保のため、未公表の情報を利用した株式などの売買を行わないこと、また、その情報を他の者に提供しないことを「OKIグループ行動規範」に明記し、インサイダー取引の防止に努めています。

2013年度は2014年4月の金融商品取引法改正に伴うインサイダー取引規制強化に的確に対応するために関連規程を改訂し、イントラネットや社内報を通じてグループ社員への徹底を図りました。

SRIインデックスへの組み入れ状況

SRI（社会的責任投資）インデックスとは、財務面とともに、CSRも重要な評価基準としている株価指数です。OKIは、2014年4月1日現在、「モーニングスター社会的責任投資インデックス（MS-SRI）」^{*}の構成銘柄に採用されています。

^{*}「モーニングスター社会的責任投資株価指数」は、モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。

